
令和5年度 第1回豊田市上下水道事業審議会 会議録

【日時】 令和5年7月3日（月） 午後1時30分～2時40分

【場所】 豊田市役所 南51会議室

- 【次第】
- 1 委嘱状交付
 - 2 審議会委員及び事務局紹介
 - 3 会長副会長の選任
 - 4 会長あいさつ
 - 5 議事
 - (1) 報告事項について
 - ①令和4年度決算について
 - ・水道事業会計決算 【資料1】
 - ・水道水源保全事業特別会計決算 【資料2】
 - ・下水道事業会計決算 【資料3】
 - ②豊田市下水道事業について
 - ・現状とこれからの取組 【資料4】
 - 6 事業管理者あいさつ

【出席者】 <委員> 竹内 信仁（名古屋大学名誉教授） ※会長
神頭 広好（愛知大学経営学部教授）
松本 嘉孝（豊田工業高等専門学校教授）
藤嶋 伸一郎（豊田商工会議所；豊田信用金庫 理事長）
樹神 康之（豊田商工会議所第一工業部会部会長）
奥休場 優子（豊田商工会議所女性会会長）
板倉 武彦（豊田市区長会理事）
山田 雄三（豊田加茂薬剤師会監事）
増田 比呂子（足助地域会議委員）
安藤 ひろみ（下山地域会議委員）
大島 年春（稲武地域会議会長）
城金 茂樹（公募委員）
加藤 有花（公募委員）
<事務局> 前田 雄治（豊田市事業管理者）
田中 統（上下水道局長）
杉山 勝浩（上下水道局副局長）
堀江 荘平（上下水道局事業担当専門監）
小島 弘一（上下水道局総務課長）
愛知 史康（上下水道局経営管理課長）
河合 保幸（上下水道局企画課長）

山本 直彦（上下水道局料金課長）
青山 博喜（上下水道局水道整備課長）
岡田 政彦（上下水道局水道維持課長）
岩田 裕二（上下水道局上水運用センター所長）
新岩 康正（上下水道局下水道施設課長）
中川 啓二（上下水道局下水道建設課長）
古川 真一（上下水道局経営管理課副課長）
池田 浩司（上下水道局経営管理課担当長）
岡野 久（上下水道局経営管理課主査）
西川 僚（上下水道局経営管理課主査）

【欠席者】 <委員> 中山 恵子（中京大学経済学部教授） ※副会長
松原 秀敏（豊田市小中学校長会）
片桐 正博（豊田森林組合代表理事組合長）
野々山 輝美（あいち豊田農業協同組合女性部長）

【傍聴者】 なし

【議事等の摘要】

1 委嘱状交付

2 審議会委員及び事務局紹介

- ・ 審議会名簿、上下水道局の組織図で紹介

3 会長副会長の選任

- ・ 会長に竹内委員、副会長に中山委員を選任

4 会長あいさつ

- ・ 本日は、大変お忙しい中、御出席をいただきありがとうございます。
- ・ 委員の皆様の御協力と御支援をいただきまして、円滑な議事進行に努めてまいります。

5 議事

（1）報告事項について

①令和4年度決算について

○事務局

- ・ 資料1から3について説明

○A委員

- ・ 電気代の高騰による影響を抑える対策はあるか。

○事務局

- ・ 電力会社の料金体系を踏まえ、料金単価の安い時間帯に電力を使用する運用にすることが可能か、検討していく。

○B委員

- ・電気代の高騰もあるが、県水の値上げの話もある。そういった外的要因の変化などの情報を適時、審議会で共有することで、ストックマネジメント計画を実施するうえでの影響が見極められると考える。
- ・下水の水をきれいに流すことで、三河湾の養殖に影響があると聞くと、豊田市として何か研究の支援をしているか。

○事務局

- ・流域下水道として、環境への影響を調査していると思うが、豊田市として調査等の取組はしていない状況である。

○C委員

- ・学校のプールに使用する水に対する料金は、別途、料金単価の設定があるのか。

○事務局

- ・豊田市は用途別料金単価の設定はなく、口径に応じて料金を設定している。

○D委員

- ・下水道の面整備は今後も続いていくのか。下水道使用料は変更する予定があるのか。

○事務局

- ・策定した未普及解消アクションプランに沿って面整備を行っていく。下水道使用料は、4年に一度の見直し時期が近づいているため、事業計画等を踏まえて検討していく。

②豊田市下水道事業について

○事務局

- ・資料4について説明

○D委員

- ・あすけ水の館が設置され、足助地区の污水環境は改善したか。

○事務局

- ・国の基準内で運用されており、改善がみられる。

○B委員

- ・足助地区の下水道接続率は何%か。

○事務局

- ・令和3年度末時点で62%程度である。

○C委員

- ・汚水処理水の検査データが一般的に確認できる状態であるのか。

○事務局

- ・上下水道局による検査データの公開はしていないが、環境部が行っている調査の水質データは豊田市ホームページで公開している。

6 事業管理者あいさつ

- ・令和4年度に審議会で議論いただいた水道料金のあり方の答申を踏まえ、令和6年度から新水道料金を導入することとしました。電気料金の高騰、県水の値上げ検討と状況も変化しています。今後の動向に注視してまいります。

- ・下水道使用料については、4年に一度の見直し時期が迫っておりますので、豊田市の下水道事業の現状を説明しました。目標とする汚水処理人口普及率95%の達成に向け事業を進めてまいります。
- ・今後も活発な議論をよろしくお願いします。

午後2時40分終了